

町の考えを問う！

11議員が登壇

3月定例議会では11名の議員が一般質問を行いました。
 その中から主な質疑応答の要旨を、質問した議員の要約により掲載します。
 なお、会議中の発言および答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(ただし、3月議会分は6月初旬の掲載になります。)



伊奈町議会ホームページ
<http://gikai02.kaigiroku.jp/ina/>

議員氏名	質問事項
永末厚二 (12ページ)	1 パブリックコメント制度について 2 合併について 3 地域福祉計画について 4 指定管理者制度について
永沼時子 (12ページ)	1 子どもを安心して生み育てられる支援充実を 2 発達障害児の支援強化のために
鈴木明 (13ページ)	町の将来展望について
鳥井文典 (13ページ)	1 安心・安全の地域づくりのために 2 栄地区・大排水路の改修計画は 3 入札制度について
金子利作 (14ページ)	1 介護保険制度を充実し、高齢者の老後を守る 2 役場職員の労働条件の改善を
大谷保雄 (14ページ)	1 町道危険道路の交通安全対策について 2 いじめ問題及び学級崩壊について 3 羽貫駅東側開発について

議員氏名	質問事項
小林菊江 (15ページ)	1 子どもの居場所づくりの促進を 2 給食アレルギー対策について 3 通学路の安全対策について
高橋康一 (15ページ)	1 初等教育、中等教育について
村山正弘 (16ページ)	1 北部区画整理地内児童公園の完成像について 2 ウォーキングマップの町民への提供について 3 延長保育について
大沢淳 (16ページ)	1 地方自治をめぐる情勢と行政改革のあり方 2 地域の住環境整備と緑、自然保護を優先した町づくりを。(総合振興計画の土地利用計画の具体化) 3 新幹線の騒音・振動対策(JRの認識と対応) 4 幼児期の集団保育の重要性と幼稚園の充実
佐藤功 (17ページ)	1 交通安全対策について 2 北保育所の跡地利用について



写真はイメージ

パブリックコメント制度の開始は、
目指すもの、具体内容はどんなものか

制度の導入は19年度から、
町行政の公正確保、透明性向上



ながすえこうじ
永末厚二 議員

問 行政改革で目指すパブリックコメント制度の導入時期は、この制度の目指すものと具体内容は、制度は条例なのか、別の形態なのか。
答 制度の導入時期は平成19年度から、目指すも

のは町民生活に影響する施策等の立案に町民だれもが意見を述べる機会を保障し、公正の確保と透明性の向上を図り、町民の視点に立った開かれた町政を実現すること、コメントのできる人は町

内、在住・勤務する人、公表内容は事業等の趣旨、目的及び背景、その案の概要、関連する資料である。案の公表方法は所管課閲覧、配布、ホームページ等により行う、最初要綱次に条例。

合併新法の期限が迫っている、合併しなくて町の運営は大丈夫

問 合併をしなくて良いのか、との声にどう答えるか、町長の決断は、町民の意見を聞く必要は。
答 合併は各首長の政治的判断や議会、住民の考え等で進められるもので、一朝一夕ではなし得ない。

合併しなくても良いまちづくりを進めていくことが重要であると考え

合併新法の期限は迫っているが本町を含め近隣の合併機運の高まりが無い現状では判断する時期ではない、決断の時期は機を見て判断したい。

妊産婦無料検診の拡大を

県に要望し拡大の方向に向ける



ながぬまときこ
永沼時子 議員

問 命の誕生まで、公費による無料検診は現在2回程度である。厚労省は市町村に交付税増額分を上乗せし、5回以上とするよう求めているが。
答 町独自の対応は難しい。県に調整を要望し、20年度以降に向け、検討していく。

「育児マネージャー」養成を

問 県は子育て支援に関する情報の一元化を図るための役割を担う人材養成を開始したが町の対応は。
答 積極的に参加している。

問 町の「子育て支援センター」がオープンした。育児やしつけ、健康、遊びや友達のことなど、育児中の親たちはアドバイザーや仲間を待っている。

学習障害や注意欠陥多動性障害児の支援強化を

この施設に毎日にぎやかに集い来る事業の計画は。
答 親子教室、育児相談、ブックスタート、巡回子育て支援事業、つどいの広場事業等、皆様に利用していただけるよう努める。

答 指導が受けられるよう、通級指導教室を小室小に設置する。



新北保育所

町の将来展望について

5万人達成時の財政は

人口増による町税の増収は

見込めるが基盤整備費の負担が増大



すずき あきら
鈴木 明 議員

問 町長の経営感覚で町政運営の実施状況は。

答 地方自治体の運営も経営という視点での意思決定が求められている。経済性、効率性、有効性に基づいた評価が必要だが、市場の論理を適用する弊害もある。今後も徹底した行財政改革を進めていく。

問 5万人達成時の財政予測は。

答 総合振興計画で平成26年の総人口を5万人としている。区画整理も北部97・6%、中部96%と終盤を迎えているが、人口増による町税の増収は見込めるものの、交付税

の減額や基盤整備、扶助費の大幅な増加で厳しい財政状況が予測される。

問 合併新法による取り組みについて。

答 昨年10月に首長、議長への説明会が開催された。合併推進構想にある4市1町の枠組みは、50万規模の自治体となり理想的と思うが実現はかなり難しい、今後は周辺市や県の動向を見極めていく。



開発が進むウニクス周辺



栄一丁目排水路

さらに安心安全の街へ！

十分検討し、方向づけを示したい



とりいぶんてん
鳥井文典 議員

問 私道や私道と公道の交差する箇所に防犯灯やカーブミラーは町で設置を。

答 設置基準が必要だ。他市町村を参考に早めに

方向づけを示したい。

問 犯罪や事故発生を未然に阻止する目的で、門灯や玄関灯を夜点けつばなしにする一軒一灯運動を展開しては。

答 関係機関の意見を聞き今後検討したい。

問 悪臭や雑草繁茂、害虫発生、転落事故発生など住民生活に支障を及ぼしている大排水路の改修計画を。

答 雨水排水対策、環境対策、治水対策を計画的に推進したいが綾瀬川・原市沼川の改修が不可欠だ。中長期的な改修計画はボックスカルバートや三面水路等を計画したいが莫大な費用が必要であり、当面陥没被害が発生する箇所を優先に整備したい。

入札制度の改善を

問 国では一般競争入札の導入への推進を求めているが。

答 総務・国交両省と8つの地方自治体の協議委員に町も選ばれ協議を重ねた。指名競争入札は縮小の方向だ。



総合センター

軽度の高齢者から福祉用具の
取り上げはやめよ

介護保険とは別に
福祉事業として実施する



かねこりさく
金子利作 議員

問 介護保険法が改悪され、要支援、介護度1の高齢者から車椅子、介護用ベットなど貸与が受けられなくなった。また、同居家族がいる

高齢者はホームヘルパーの派遣が制限された。一律に利用制限を行わず、町独自の対応が必要だ。

答 福祉用具の貸出は、介護保険とは別に福祉事業として希望者には貸出を行う。ホームヘルパーの派遣についても条件に応じて対応していく。

問 介護保険料は、制度発足時と比較し2万300円、180%の値上げとなっている。

住民税非課税、高齢者控除の廃止により収入は増えないのに保険料は2段階もあがっている。介護保険料が高いのは国の負担を削減したためであり、元に戻すことだ。

町は、一般会計からの繰入れを増やし、負担の軽減を図ることだ。

答 介護施設の充実に伴う保険料の値上げであり、理解してもらいたい。

一般会計からの繰入れは、国の指導もあり困難だ。

町道危険道路対策は

危険箇所を把握し、

関係機関と連携し安全対策を推進する



おおたにやすお
大谷保雄 議員

問 県民活動センター裏側の道路対策について。

答 住宅開発が進み、交通量が増加している。

町は平成16年、上尾警察署と協議し、スピード抑制対策として車道の幅員を4メートルにし、2メートルの歩道を確保し、グリーンベルトを設置した。

今後引き続き安全対策の推進に努める。また、危険道路対策は、危険箇所の把握に努め、安心安全な町づくりを推進する。

その後、いじめの実態対策は



平成20年末までに開発予定の羽貫駅東側

ないと強い認識を持つことを繰り返し指導する」、「児童生徒の立場に立ち親身の指導を行う」。また、学級崩壊については、保護者との連携を進め、学校、家庭、地域社会が一体となった対応に取り組む。

羽貫駅東側開発は

答 平成19年度から駅に通じる道路をはじめ街路整備、公園整備を順次進める。完成年度は平成20年末を目標に完成を目指す。

問 継続指導中の7件は解消した。1月から3月の実態は小学校4件、中学校2件把握している。対策は「弱いものをいじめることは絶対に許され



午後の校庭

「子どもの居場所づくり」促進を

今後の課題に取り組み、
事業実施にむけた検討をしていく



こばやしきくえ
小林菊江 議員

問 放課後子どもプラン
実施にむけて今後の課題
はなにか。

また、運営組織の設置
は。

答 十分な効果をあげる
上で解決しなければなら
ないさまざまな課題があ

る。各小学校の状況に合
わせ、財政面や運営方法
等、事業実施に向けた検
討をしていく。

運営組織は各児童クラ
ブの状況に配慮し福祉課
と協議していく。

問 夏休みなどの間だけ

でも、児童クラブの6年
生までの受け入れ拡大
は。

答 拡大は考えていな
い。

給食アレルギー対策を

問 児童生徒の現状や把
握、調査等、また、その
対策は。

答 「就学時健康診断」時
に記入欄を設け養護教員
より伝達しているが、現
在、小学校で4名、その
中の2名はお弁当持参で
ある。

給食食材の成分分析票
や指示書を渡し、飲食の
可否は保護者に委ねてい
る。

牛乳アレルギーは小中
合わせて17名いる。給食
費の減額を実施してお
り、アレルギー食物除去
調理は不可能だが可能な
限り保護者の要望に沿
う。

通学路危険箇所の 解消を

答 安全確保に努めてい
く。

さわやか相談員とは

町内3中学校に配置



たかはしやすかず
高橋康一 議員

問 初等教育、中等教育
における正常な学級経営
とは。

答 伊奈町教育行政重点
施策の『豊かな心を育む
魅力ある学校づくりの推
進』に基づき、「次代を
担う子供たちを育てる」
という基本姿勢に立ち、

子供たちを鍛え励ましな
がら基礎基本の徹底を目
指し、確かな学力の向上、
心の教育の充実、安心安
全な学校づくりを展開し
ている。

基本を共通理解し、児
童生徒の実態、保護者の
願いなどを踏まえて、意
図的、計画的に学級を経
営する事が正常な学級経
営と考えている。学級は、

学習集団及び生活集団と
しての機能があり、学級
担任様々な教育活動を通
し、『協力してより良い生
活を築く』自主的、実践
的態度を育成すると共に
集団の一員として一人一

人が認められ、生かされ
る学級づくりに努める必
要があると考えている。

問 児童生徒の状況は。

答 小中学生の非行問題
行動に限らず、「学級破
壊」は、深刻な課題であ
る。定期的な校長会議、
教頭会議、生徒指導担当
者会議、学校訪問等で報
告を受け、状況把握し対
応している。学級が正常
に運営できない状況の報
告を受ける事もあるの
で、期を逃さず状況を把
握し適時、適切な対応を
する。



中学校授業

北部区画整理地内の街区公園は災害時などの一時避難地等の完成像を描くべきだ

県施行の事業終了後、財政状況等を総合的に勘案し検討する



むらやまさひろ
村山正弘 議員

問 事業地内には15街区公園が建設されるが、他の地域に比較しトイレがない。

答 一時避難地や住民の憩いの場とし整備すべきだ。

問 年度内に6公園供用を開始し、20年度内に残り9公園が完成する。

答 県施行事業なので、町に移管後に将来を検討していく。

団塊の世代へ
ウォーキングガイドを

問 小学校通学路の防犯パトロールに、ウォーキングを合わせ防犯への協力を得てはどうか。



新設 ウニクス前「さくら公園」

保育所保育時間の延長

問 19時までの延長保育を多くの保護者から望まれるが、実施はいつからか。

答 北保育所の定員拡大、子育て支援センター、心身障害児通園施設開設などから、直ちに延長保育を行うことは難しいと考える。

問 状況は理解するが、計画上の実施時期を明確にすべきだ。

答 次世代育成支援行動計画の前期計画期間中において、判断していく。

幼稚園利用者の

経済的負担軽減を

幼稚園就園奨励費補助金を

を交付している



北部区画整理地域に残る貴重な雑木林（公園予定地）



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

行政改革のあり方

問 住民窓口サービスの向上を。

答 北部地区に出張所を設置する。

問 パブリックコメントの制度の具体化を。

答 町の総合的な計画や大規模な公共事業について立案の段階で情報提供をおこなう。

地域の住環境と緑、自然保護を優先したまちづくりを

問 道路、公共下水など住環境整備が求められている小針新宿、志久駅周辺の検討状況は。

答 小針新宿地区は市街化の必要性は高い、志久駅周辺も駅周辺整備の優先度が高い、引き続き検討したい。

新幹線の騒音・振動対策を

問 現在の対策と今後の改善を。

答 車両の軽量化、ロングレール化、防音壁のかさ上げ、側壁吸音工事をおこなってきた。

今後は、低騒音車両や防音施設の新たな技術開発をおこなう。

幼児期の集団保育の重要性と幼稚園の充実

問 幼児期の集団保育の重要性は。

答 幼児が望ましい成長や発達を遂げるために幼児教育は重要。

小針中学校東側道路に

信号機の設置を

早期実現に向け引き続き

県警察に強く要望していく



さとう たかひさ
佐藤 功 議員

信号機の設置を

問 ウニクス北側の県道上尾久喜線の渋滞がげげしい。

大針方面からの進入横断が困難。交差点に信号機の設置を。

答 県警察に引き続き要望していく。現在町内29箇所に設置を要望している。

寿5丁目の渋滞解消を

問 セキチユーと寿5丁目間は日常的に渋滞がげげしい。

右折禁止にし、渋滞解消を。

答 埼玉県北本県土整備



取り壊す前の旧北保育所

北保育所の
跡地利用計画は

答 町の町有地で処分が可能な土地は行政改革計画プランで処分していくことになっている。

新しく北保育所がオープンしたので、平成19年度中に処分する予定だ。

事務所や上尾警察署と協議し、渋滞解消に努めていく。



募集します！

議会だよりの表紙を飾る写真を撮ってみませんか。

136号は8月1日、137号は11月1日の発行予定です。

それぞれ各号季節に合った表紙の写真を募集します。

採用された方には表紙に写真とともに撮影者氏名を掲載します。

応募資格

町内在住・在勤・在学中で、写真撮影機材をお持ちの方。

応募/切

5月31日(消印有効)

応募方法

はがきに住所(町外在住の場合は在勤地または在学地)、氏名、年齢、電話番号、希望する号、簡単なPRをお書きのうえ、

〒362-8517

伊奈町小室9493

議会だよりの編集委員会

までお送りください。ご応募いただいた方のなかから委員会で決定します。詳細につきましては、決定後にご連絡いたします。

撮影条件

撮影地は町内。被写体に人物を含むこと。また議会広報紙の表紙に適した内容であること。

テーマは発行日の約2ヶ月前に委員会で決定します。

デジタルカメラを使用される場合は、高画質での撮影をお願いします。

注意事項

報酬等の支給や費用弁償、災害補償、保険は一切ありません。

応募いただいた写真は返却いたしません。



原市沼川の菜の花